

家の周囲の安全対策

●以下のポイントをチェックし、適切に補修を行ってください。

屋根

不安定な屋根のアンテナの補強。
瓦のひび、割れ、ずれ、はがれがないか。
トタンのめくれ、はがれはないか。

ブロック塀・門柱

土中にしっかりした基礎、控え壁のないものは補強。
ひび割れや鉄筋のサビはないか。

窓ガラス

強風による飛来物などに備え、外側から板でふさぐ、飛散防止フィルムを貼るなどの処置を。ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。

ベランダ

鉢植えや物干し竿など飛散の可能性が高いものは室内へ。

非常口の確保

通路や出入口には、避難の際の妨げにならないよう、できるだけ自転車やベビーカーなどの物は置かない。

雨どい・雨戸

雨どいに落ち葉や砂が詰まっていないか。
雨戸にガタツキやゆるみはないか。
継ぎ目の外れや塗装のはがれ、腐りはないか。

側溝

側溝が詰まると、道路冠水や浸水の原因に。日頃からの清掃を。

外壁

板壁に腐りや浮きはないか。
モルタルの壁に亀裂はないか。

家の周りのもの

プロパンガスのボンベはしっかり固定されているか。
植木鉢などは整理整頓を。
風に飛ばされそうなものは事前に屋内へ。

土砂災害の予防策

●がけや斜面の近くでは特に次のようなことを心がけましょう。

斜面の状態の変化に
十分注意しましょう。

落ちそうな岩や土のかたまりは撤去する。

崩れそうな所は木や板の柵、石積をする。

こわれた石垣などは修理や補強を。

風でゆれる大きな木は地面をゆさぶられないよう枝を切る。

がけの危険な部分はビニールなどで覆い、雨水の浸みこみを防ぐ。

雨水をがけに流さないように水路を造る。

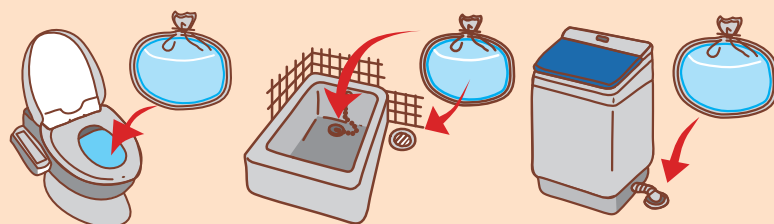
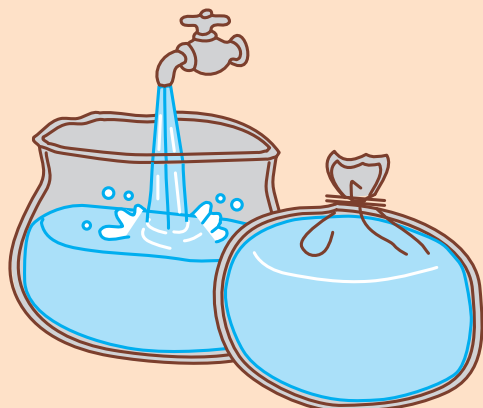
水路はゴミを掃除する。

住宅の浸水被害を防ぐには

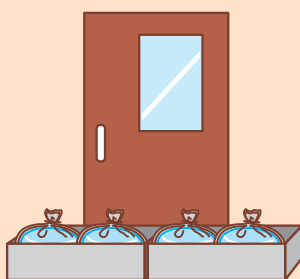
浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の浸入口となるところを塞ぐことで水の侵入を減少させることができます。トイレなどの逆流防止にも有効です。
※実施の際には避難の妨げにならないように気を付けてください。

「水のう」の作り方

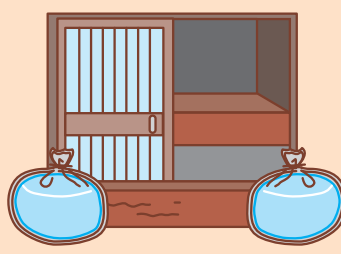
40L程度のごみ袋を二重にして半分程度の水を入れる
空気を抜いて口をしぼる



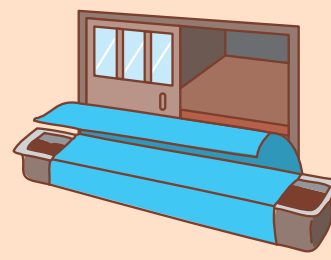
排水口からの逆流対策に



段ボール等に入れて並べる



長めの板状のものと組み合わせて止水板に



土を入れたプランターをレジャーシートなどで包むのも有効